

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	九州保健福祉大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
社会福祉学部	スポーツ健康福祉学科	夜・通信	16	21	173	210	13	
	臨床福祉学科	夜・通信	12	20	139	171	13	
保健科学部	作業療法学科	夜・通信	8	2	47	57	13	
	言語聴覚療法学科	夜・通信	8	2	49	59	13	
	視機能療法学科	夜・通信	8	2	7	17	13	
	臨床工学科	夜・通信	8	2	39	49	13	
薬学部	薬学科	夜・通信	12	8	99	119	19	
	動物生命薬科学科	夜・通信	12	12	130	154	13	
生命医科学部	生命医科学科	夜・通信	20	15	141	176	13	
臨床心理学部	臨床心理学科	夜・通信	12	18	57	87	13	
通信教育部 社会福祉学部	臨床福祉学科	夜・通信	0	0	41	41	13	
(備考) 学生募集停止 保健科学部 (視機能療法学科4年次のみ・作業療法学科・言語聴覚療法学科・臨床工学科3・4年次) 令和2年度に新設(改組) 臨床心理学部 現在2年次								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学科毎に開講科目一覧表を、大学ホームページにて公表 http://www.phoenix.ac.jp/outline/disclosure ※情報公開のページに本制度の公表内容を掲載

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	
困難である理由)	該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	九州保健福祉大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人順正学園のホームページにて公表 https://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	ヤマハリテイリング 音楽教室講師	2020.6.1～ 2024.5.31	教育
非常勤	(公財) 笹川平和財団 理事長	2020.6.1～ 2024.5.31	コンプライアンス
非常勤	飛島建設(株) 元代表取締役社長	2020.6.1～ 2024.5.31	施設設備
非常勤	黒住教 名誉教主	2020.6.1～ 2024.5.31	地域連携
非常勤	テレビせとうち(株) 代表取締役会長	2020.6.1～ 2024.5.31	広報
非常勤	(株) 山陽新聞社 監査役	2020.6.1～ 2024.5.31	広報
非常勤	(公財) 岡山県産業振興 財団 理事長	2020.6.1～ 2024.5.31	産学連携
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州保健福祉大学
設置者名	学校法人順正学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)については、毎年度、学部・学科ごとに定めたカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーに基づき、科目担当者ごとに科目のシラバス作成や見直しなどを行っている。また、シラバス作成に当たっては、シラバス作成マニュアル等を定め、作成内容・表記方法等を統一するように努めており、さらに、第三者によるシラバスチェックを行うとともに、学科長及びカリキュラム担当教員(シラバスチェック者)が中心となりシラバス内容の充実に取り組み、年度当初の履修登録開始前の3月末までには学生に向け、学修支援システム(ユニバーサルパスポート)にて公表している。</p> <p>なお、2019年度より、シラバス項目に「実務経験のある教員による教育」の欄を設け、対象科目が明確となるよう記載に努めている。</p> <p>在学生以外の一般者への公表については、学部・学科毎のシラバス一覧を作成すると共に、シラバス検索システムにより、当該年度はもとより、過年度シラバスも検索可能としており、本学ホームページにより、広く公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本学ホームページにより公表 <small>※3. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画(シラバス又は年間授業計画の概要)</small> http://www.phoenix.ac.jp/outline/disclosure/disclo-01 <small>※学修支援システム・シラバス検索システム</small> https://unipa.jei.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定や卒業認定については、学則(第5章の第32条、第36条、第37条)に定めて適切に運用している。また、単位認定の要件や学修評価の基準についても明確に定め、「学生便覧」に掲載し学生に周知している。さらに、科目ごとの評価基準は、シラバスの『評価方法』欄に、単位認定に係る成績評価の方法(試験、レポート、小テストなど)と基準(評価割合など)を学生に分かりやすく記載し、その基準に沿って担当教員が厳格な評価を行っている。</p> <p>特に学位授与方針(DP)に直結する卒業論文などの評価においては、ルーブリック評価表を用いて、厳格かつ適正に評価を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPA等の客観的な指標については学生に配布する「学生便覧」等において、以下のとおり明確に定めている。

<2019年度入学生まで>

単位修得の認定・学習の評価の基準

以下の基準で単位修得の認定、学習の評価を行います。(学則第36条)

評価	評点	GP	判定	単位の認定
秀(S)	100~90点	4.0	合格	認定
優(A)	89~80点	3.0		
良(B)	79~70点	2.0		
可(C)	69~60点	1.0		
認定(N)	—	—	不合格	不認定
不可(D)	59~0点	0		
放棄(E)	—	0		

GPA制度

本学では、成績評価にGPA制度を導入しています。このGPAは、年度末に送付される「成績通知表」およびUniversal Passportにて確認できますが、今後成績優秀者の判定等に利用していきますので、算出方法を理解しておいて下さい。

《GPAの算出方法》

$$GPA = \frac{4 \text{ポイント(秀)} \times \text{単位数} + 3 \text{ポイント(優)} \times \text{単位数} + 2 \text{ポイント(良)} \times \text{単位数} + 1 \text{ポイント(可)} \times \text{単位数}}{\text{履修登録単位数(不可・放棄を含む)}}$$

ただし、認定科目は修得単位からも履修登録単位数からも除きます。

<2020年度入学生より>

(学習の評価の基準)

第18条 授業科目の成績は、次の基準によるものとする。

評価	評点	GP (Grade Point)	判定	基準等
秀(S)	100~95点	4.5	合格	到達目標を達成し、極めて優秀な成績をおさめている
	94~90点	4.0		
優(A)	89~85点	3.5	合格	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている。
	84~80点	3.0		
良(B)	79~75点	2.5	合格	到達目標を達成している。
	74~70点	2.0		
可(C)	69~65点	1.5	合格	到達目標を最低限達成している。
	64~60点	1.0		
不可(D)	59~0点	0	不合格	到達目標を達成していない
放棄(E)	なし	0	不合格	定められた学修水準に達していない (試験未受験・授業出席回数不足等)
認定(N)	—	—	合格	単位認定科目

(学習成果の指標)

第19条 学習成果を測る指標として、GPAを用いる。

2 GPAの計算方法は次の通りとする。

$$\text{年度 GPA} = \frac{\text{当該年度中に履修登録した授業の単位数} \times \text{当該授業科目の GP の総和}}{\text{当該年度中に履修登録した科目の総単位数(不可・放棄を含む)}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{在学中に履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目の GP の総和}}{\text{在学中に履修登録した科目の総単位数(不可・放棄を含む)}}$$

3 認定科目は、GPA計算に含まない。

さらに、学生が自分の成績の状況を把握できるように、学科及び学年ごとにGPAの分布図を作成し、ホームページ等に掲載している。また本学ではチューター制度を設けており、学生個々にこの分布図を用いて学修指導を行う。

客観的な指標の算出方法の公表方法	大学ホームページにて公表 http://www.phoenix.ac.jp/outline/disclosure ※情報公開のページに本制度の公表内容を掲載
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、建学の理念を踏まえ、学部学科のそれぞれの特色に沿って卒業認定・学位授与の方針であるディプロマ・ポリシーを策定し、大学のホームページや学生便覧、大学パンフレット等に掲載している。各学部学科では、これらディプロマ・ポリシーを実現するために、カリキュラム・ポリシーを定め、その教育内容及び教育方法に沿って、科目ごとに設定した評価基準により、評価し、単位認定することにより、知識と技術に裏打ちされた専門的な能力を身に付けることで、厳格に学位授与（卒業認定）を行っている。</p> <p>なお、卒業認定の適切な実施については、科目担当教員により厳正に評価された情報（成績評価、単位取得状況等）を事務部署である教務課において集約し、卒業判定を行う基礎資料を作成し、学科教員及び事務部署双方で確認（チェック）を行い、最終的には学長が当該教授会で審議検討された意見を聴き、卒業の認定を行っている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	大学ホームページにて公表 ※1. 教育課程の編成と実施方法（3つのポリシー） https://www.phoenix.ac.jp/outline/disclosure/disclo-01

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	九州保健福祉大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://junsei.ac.jp/edu/ctrlj/wp-content/uploads/2021/06/01kessan.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://junsei.ac.jp/edu/ctrlj/wp-content/uploads/2021/06/01kessan.pdf
財産目録	https://junsei.ac.jp/edu/ctrlj/wp-content/uploads/2021/06/02mokuroku.pdf
事業報告書	https://junsei.ac.jp/edu/ctrlj/wp-content/uploads/2021/06/05jigyo.pdf
監事による監査報告(書)	https://junsei.ac.jp/edu/ctrlj/wp-content/uploads/2021/06/03houkoku.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:九州保健福祉大学第2期中期目標・中期計画書 対象年度:令和元年より4年間)	
公表方法:大学ホームページにて公表 ※中期目標・中期計画 https://www.phoenix.ac.jp/outline/disclosure	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:大学ホームページにて公表 ※自己点検評価 http://www.phoenix.ac.jp/outline/self-inspection-and-evaluation

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:大学ホームページにて公表 ※日本高等教育評価機構 大学機関別認証評価 https://www.phoenix.ac.jp/outline/jiheer#main-cont

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 社会福祉学部、保健科学部、薬学部、生命医科学部 臨床心理学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページにて公表 http://www.phoenix.ac.jp/outline/odisclo-bjective-01 ）
（概要） 本学学則第 1 条に「本学は、教育基本法及び学校教育法の本旨にのっとり、国際化社会に向けて、介護・福祉・医療・薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする。」と定め、学部・学科毎に専門性に沿った教育研究を展開している。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） ※1. 教育課程の編成と実施方法（3つのポリシー） https://www.phoenix.ac.jp/outline/disclosure/disclo-01
（概要） カリキュラム・ポリシーに定めた教育内容及び教育方法に基づき、科目ごとに設定された評価基準により評価し単位認定され、修得した知識と技術に裏打ちされた専門的な能力をディプロマ・ポリシーに定め、厳格に学位授与（卒業認定）を行っている。 なお、卒業認定の適切な実施については、科目担当者により厳正に評価された情報を事務部署である教務課において集約し、卒業判定を行う基礎資料を作成し、学科教員及び事務部署双方で確認（チェック）を行い、最終的には学長が当該教授会で審議検討された意見を聴き、卒業の認定を行っている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） ※1. 教育課程の編成と実施方法（3つのポリシー） https://www.phoenix.ac.jp/outline/disclosure/disclo-01
（概要） ディプロマ・ポリシーに定めた内容を具現化するために、学部・学科の特色ある専門性並びに人材養成の目的を実現するために学士課程教育としてのカリキュラム・ポリシーを定め、基礎的教養教育や専門教育を通して特色ある専門職人材の育成に取り組んでいる。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） ※1. 教育課程の編成と実施方法（3つのポリシー） https://www.phoenix.ac.jp/outline/disclosure/disclo-01
（概要） 本学の建学の理念に則り、大学及び各学部・学科の使命・目的及び教育目的を反映し、「求める人物像」や「事前に学んできてほしいこと」を中心としたアドミッション・ポリシーを策定し、中等教育段階までに修得すべき知識・能力・特性・目的意識等を明確に定め、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの関連に基づく入学者選抜方法並びに方針に従い、より優秀な入学者選抜を実施すべく、本学ホームページや学生募集要項等に公開している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：下記の URL のとおり、本学 HP 上の情報公開ページに広く基本的組織に関する事項を公開している。 http://www.phoenix.ac.jp/outline/disclosure/disclo-01
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
	3人						3人
社会福祉学部 (通信教育部含む)		10人	7人	10人			27人
保健科学部		12人	3人	1人	4人		20人
薬学部		17人	11人	8人			36人
生命医科学部		6人	4人	2人	1人		13人
臨床心理学部		2人	2人	2人			6人
その他、附置研究所に教授1人							
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			127人				127人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：大学ホームページ（教員紹介ページ）にて公表 ※下記学科名毎にハイパーリンクにて公表（通信教育部を含む） 社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科 臨床福祉学科 保健科学部 作業療法学科 言語聴覚療法学科 視機能療法学科 臨床工学科 薬学部 薬学科 動物生命薬科学科 生命医科学部 生命医科学科 臨床心理学部 臨床心理学科					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
毎年度、授業内容・方法を改善し向上させることのみに関わらず、教学に係るあらゆる側面から本学で直面する喫緊の課題をテーマとしてFD研修会を開催している。特に、講演などを聞くだけに留まらず、学部・学科さらには教員・事務職員の垣根を越えて、様々な課題と対応策などを検討・集約することを目的に、グループ討議の場を設け、積極的な問題解決に取り組めるよう、工夫を行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
社会福祉学部	80人	49人	61.2%	353人	240人	68.0%	8人	3人
保健科学部	人	人	%	290人	104人	35.9%	0人	1人
薬学部	140人	70人	50.0%	904人	625人	69.1%	24人	7人
生命医科学部	80人	57人	71.3%	280人	211人	75.4%	0人	0人
臨床心理学部	40人	33人	82.5%	80人	83人	103.8%	0人	0人
通信教育部	300人	33人	11%	2000人	446人	22.3%	190人	44人

社会福祉学部								
合計	640人	242人	37.8%	3907人	1709人	43.7%	222人	55人
(備考) ※編入学生については、定員に欠員のある場合には、学則に定めのある定員以外にも受け入れる場合がある。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)		その他
社会福祉学部	76人 (100%)	7人 (9.2%)	63人 (82.9%)		6人 (7.9%)
保健科学部	62人 (100%)	0人 (0%)	46人 (74.2%)		16人 (25.8%)
薬学部	106人 (100%)	1人 (0.9%)	83人 (78.3%)		22人 (20.8%)
生命医科学部	49人 (100%)	4人 (8.2%)	32人 (65.3%)		13人 (26.5%)
合計	293人 (100%)	12人 (4.1%)	224人 (76.5%)		57人 (19.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 宮崎県庁、クオール(株)、藤元メディカルシステム、(株)大賀薬局、社会福祉法人千種会、中部徳洲会病院など					
(備考) ※学校基本調査を転記しておりますので秋卒業生も含んでおります。					

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内			
		卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
社会福祉学部	74人 (100%)	63人 (85.1%)	2人 (2.7%)	6人 (8.1%)	3人 (4.1%)
保健科学部	62人 (100%)	43人 (69.4%)	6人 (9.7%)	6人 (9.7%)	7人 (11.3%)
薬学部	198人 (100%)	71人 (35.9%)	73人 (36.9%)	44人 (22.2%)	10人 (5.1%)
生命医科学部	63人 (100%)	49人 (77.8%)	3人 (4.8%)	6人 (9.5%)	5人 (7.9%)
通信教育部	104人 (100%)	67人 (64.4%)	9人 (8.7%)	23人 (22.1%)	5人 (4.8%)
社会福祉学部	104人 (100%)	67人 (64.4%)	9人 (8.7%)	23人 (22.1%)	5人 (4.8%)
合計	501人 (100%)	293人 (58.5%)	93人 (18.6%)	85人 (17.0%)	30人 (6.0%)
(備考) ※その他は、除籍者並びに転学部転学科者の合計。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

授業計画書(シラバス)については、毎年度、学部・学科ごとに定めたカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーに基づき、科目担当者ごとに科目のシラバス作成や見直しなどを行っている。また、シラバス作成に当たっては、シラバス作成マニュアル等を定め、作成内容・表記方法等を統一するように努めており、さらに、第三者によるシラバスチェックを行うとともに、学科長及びカリキュラム担当教員(シラバスチェック者)が中心となりシラバス内容の充実に取り組み、年度当初の履修登録開始前の3月末までには学生に向け、学修支援システム(ユニバーサルサポート)にて公表している。

なお、2019年度より、シラバス項目に「実務経験のある教員による教育」の欄を設け、対象科目が明確となるよう記載に努めている。

在学生以外の一般者への公表については、学部・学科毎のシラバス一覧を作成すると共に、シラバス検索システムにより、当該年度はもとより、過年度シラバスも検索可能としており、本学ホームページにより、広く公開している。

また、年間の授業の計画に関する事項(学年暦)については、年度当初のオリエンテーションで説明を行うと共に、学修支援システム(ユニバーサルサポート)でも周知を行い、学生の理解を図っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

各科目の学修成果に係る評価は以下の基準に基づき行い、認定を行っている。

<2019年度入学生まで>

単位修得の認定・学習の評価の基準

以下の基準で単位修得の認定、学習の評価を行います。(学則第36条)

評価	評点	GP	判定	単位の認定
秀 (S)	100~90点	4.0	合格	認定
優 (A)	89~80点	3.0		
良 (B)	79~70点	2.0		
可 (C)	69~60点	1.0		
認定 (N)	—	—	不合格	不認定
不可 (D)	59~0点	0		
放棄 (E)	—	0		

GPA制度

本学では、成績評価にGPA制度を導入しています。このGPAは、年度末に送付される「成績通知表」およびUniversal Passportにて確認できますが、今後成績優秀者の判定等に利用していきますので、算出方法を理解しておいて下さい。

《GPAの算出方法》

$$GPA = \frac{4 \text{ ポイント(秀)} \times \text{単位数} + 3 \text{ ポイント(優)} \times \text{単位数} + 2 \text{ ポイント(良)} \times \text{単位数} + 1 \text{ ポイント(可)} \times \text{単位数}}{\text{履修登録単位数 (不可・放棄を含む)}}$$

ただし、認定科目は修得単位からも履修登録単位数からも除きます。

<2020年度入学生より>

(学習の評価の基準)

第18条 授業科目の成績は、次の基準によるものとする。

評価	評点	GP (Grade Point)	判定	基準等
秀 (S)	100~95点	4.5	合格	到達目標を達成し、極めて優秀な成績をおさめている
	94~90点	4.0		
優 (A)	89~85点	3.5	合格	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている。
	84~80点	3.0		
良 (B)	79~75点	2.5	合格	到達目標を達成している。
	74~70点	2.0		
可 (C)	69~65点	1.5	合格	到達目標を最低限達成している。
	64~60点	1.0		
不可 (D)	59~0点	0	不合格	到達目標を達成していない
放棄 (E)	なし	0	不合格	定められた学修水準に達していない (試験未受験・授業出席回数不足等)
認定 (N)	—	—	合格	単位認定科目

(学習成果の指標)

第19条 学習成果を測る指標として、GPAを用いる。

2 GPAの計算方法は次の通りとする。

$$\text{年度 GPA} = \frac{\text{当該年度中に履修登録した授業の単位数} \times \text{当該授業科目の GP の総和}}{\text{当該年度中に履修登録した科目の総単位数 (不可・放棄を含む)}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{在学中に履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目の GP の総和}}{\text{在学中に履修登録した科目の総単位数 (不可・放棄を含む)}}$$

3 認定科目は、GPA計算に含まない。

また、卒業の認定については、科目担当者により厳正に評価された情報を事務部署である教務課において集約し、卒業判定を行う基礎資料を作成し、学科教員及び事務部署双方で確認(チェック)を行い、最終的には学長が当該教授会で審議検討された意見を聴き、卒業の認定を行っている。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
社会福祉学部	スポーツ健康福祉学科	124 単位	有・無	49 単位
	臨床福祉学科	124 単位	有・無	49 単位
保健科学部	作業療法学科	126 単位	有・無	49 単位
	言語聴覚療法学科	126 単位	有・無	49 単位
	視機能療法学科	126 単位	有・無	49 単位
	臨床工学科	126 単位	有・無	49 単位
薬学部	薬学科	186 単位	有・無	49 単位
	動物生命薬科学科	124 単位	有・無	49 単位
生命医科学部	生命医科学科	124 単位	有・無	49 単位
臨床心理学部	臨床心理学科	124 単位	有・無	49 単位
通信教育部 社会福祉学部	臨床福祉学科	124 単位	有・無	49 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：本学園独自の奨学金選考条件の一つとして活用している。毎年度、学修支援システムを活用し周知しており、URLの提示が出来ない。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：特になし。		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページにて公表

<https://www.phoenix.ac.jp/outline/campusmap>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
社会福祉学部	スポーツ健康福祉学科	853,000 円	300,000 円	350,000 円	施設設備費
	臨床福祉学科	853,000 円	300,000 円	350,000 円	施設設備費
保健科学部	作業療法学科	1,146,000 円	－円	350,000 円	施設設備費
	言語聴覚療法学科	1,146,000 円	－円	350,000 円	施設設備費
	視機能療法学科	1,146,000 円	－円	350,000 円	施設設備費
	臨床工学科	1,146,000 円	－円	350,000 円	施設設備費
薬学部	薬学科(1年次)	1,096,000 円	300,000 円	520,000 円	施設設備費
	薬学科(2年次以降)	1,576,000 円	－円	520,000 円	施設設備費
	動物生命薬科学科	1,146,000 円	300,000 円	350,000 円	施設設備費
生命医科学部	生命医科学科	1,146,000 円	300,000 円	350,000 円	施設設備費
臨床心理学部	臨床心理学科	853,000 円	300,000 円	350,000 円	施設設備費
通信教育部	社会福祉学部 臨床福祉学科	155,000 円	(1年次) 30,000 円 (2年次編入) 40,000 円 (3年次編入) 50,000 円	30,000 円	科目登録料

※保健科学部4学科は募集停止。

※通信教育部については、履修単位等により別途徴収する費目がある。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、学生の修学に係る支援に取り組む体制として、スチューデントサポートセンター(教務部・学生部)及び図書館等を組織し対応に当たっている。 教務部では履修、成績などの指導・管理を行い、充実した学修生活のサポートを行い、学生部では学生生活支援を主に行い、留学支援なども積極的に行っている。 また、図書館では、ラーニング commons の機能を配し、タブレット型パソコンの貸し出しも行い学修支援や学修環境の充実にも努めている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、就職支援を行うキャリアサポートセンターを組織し、地元企業の魅力や働き方を企業の若手社員より学生に直接伝える「WorkCafé のべおか」を開催している。また、卒業前年度及び卒業前々年度の学生を対象とした「就職ガイダンス」を開催し、低学年からのキャリア意識の醸成を目的とした支援、就職活動の円滑な展開や就職試験への対応に繋がる各種企画を積極的に実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、学生の心身の健康等に対する支援に取り組む体制として、健康管理センターを組織し、「保健室」と「学生相談室」の2室を設置し、学生サポートに取り組んでいる。 「保健室」では健康診断による学生の健康管理に加え、突発的な体調不良や慢性的な身体疾患に対する支援を行い、医師・看護師などの資格を持つ専門職が対応に当たっている。 また、「学生相談室」では、学生生活を送る上での様々な悩みに対し相談に応じており、特に心の悩みに対応できる心理専門職を配し、心身の健康に係る支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：教育研究上の情報として、大学ホームページにて公表 https://www.phoenix.ac.jp/outline/disclosure/disclo-01/disclo-01-info
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F145310111583
学校名	九州保健福祉大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		132人	124人	137人
内 訳	第Ⅰ区分	74人	75人	
	第Ⅱ区分	38人	35人	
	第Ⅲ区分	20人	14人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				137人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	12人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	12人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。